



## 嗨★アイスティック

中国語の挨拶の「嗨★(Hi★)」とグループ全員が好きな美味しいものの代表としてのアイス、ベトナム語で「好き」を意味する「thích (ティック)」を組み合わせたチーム名にした。

## メンバー紹介

金彩仁:

韓国から来ました。  
甘いものが大好きです！部活で合気道  
をしています。

孫婉榛:

こんにちは、台湾の出身です！  
文化差異を体験することが面白いと  
思うから、旅行が大好きです。

王子怡:

王子怡、オウシイです  
中国武漢人、辛いもの大好き♡可愛  
いもの大好き♡お宅大好き♡

永濱萌衣:

こんにちは、永濱萌衣です！  
色々な国の子と話したくてこの授業に参加  
しました！  
食べることが大好きです！

吉川菜優:

日本人のまゆちゃんです☺  
食べることが大好きな最年少

Nguyen Ha My :

ベトナムのハミーです。  
マンガとか日本の小説とか好きなので、  
日本語について興味があって来ました♡



## 作品の説明



景福宮の夕食をbooknookにしました。また、韓国が出所者に豆腐を与える特殊な文化や、人をだますと罰せられるという昔話についての説明文を展示しました。



①book-nook:

私が作ったのは台湾伝統的な建物の「三合院」である。普通に、この「三合院」は三軒を一組にしているけど、家族の人数によって一軒、四軒、四軒以上の場合もある。よく「昔の話」についてのテレビ番組で見られる。

②昔話の展示:

旧暦の8月15日は「中秋節」(Happy Moon Festival)である。「中秋節」といえば、この物語に関係がある。この物語聞いたことがある?

③特有な文化の展示:

「廟」は台湾で結構重要な文化である。昔の人は「廟」を中心にして周りに住んでいた。「廟會」は特別な表現と儀式がある。とても賑やかだよ!



このbooknook は中国伝統的な街のドアから作ったものなんです。これは一般的なものではないんですけど、ある要求に達したら、このようなドアが建てられます。例えば、武漢大学の前はこのようなドアがある。中はまず賑やかな商店街、その後は大学。

展示した物語は中国伝統的な物語である。とても昔昔の話だ。この二人様は中国の物語の中で、とても偉い人だ。女媧は神様で、人類を作った人だ。その後も一生懸命人類を守って来た。神農は人類で、百種類の草を食べたら、どれが食べられるか、どれが毒か、民衆はわかった。お茶もこの時発見されたらしい。



選んだ門はベトナム最初の大学門である。Van Mi u Qu c tũ gi m  
とされている。現在、年始の行事ごとに、家に飾るため漢字を授  
与するという活動が行われている。理由は知識を敬う精神を表すの  
だ。また、幸福と幸運に満ちた新年を祈るためだ。

門の傍ろには蓮花とAo Tu Than(アオ・トゥ・タン/襖四身)の衣  
装を着た女が飾られている。

これらはベトナムの伝統的なものである。ベトナムの民族衣装と言  
ったら、アオザイと考えている。しかし、ベトナムは、アオザイ以  
外、様々な民族衣装がある。

アオ・トゥ・タンは20世紀の1920~1930年代に登場した。

人間の感情的な意味を持って、4つの裾が父母(父、母、義父、義  
母)を表している。また、服のつける5つのボタンは、仁・義・礼・  
智・信の義理を表している。



展示した昔話はおむすびころりんで、特有の文化とし  
て年賀状について書きました。ぜひ見てください!

奈良女生にメッセージ!



国際セミナー室にぜひ見に来てくださのおね!

また CotoQueの出入口に世界マップを置いてある。興味のある方、どうぞ!



## この授業に参加するにあたって工夫したところ

国や地域、文化が違う人たちと交流するので、はじめはお互いあまり喋れなかったり、言いたいことがうまく伝わらなかったりした。しかし、授業を重ねるごとに、わからないことがあればすぐに聞いたり、皆に伝わるように簡単な言葉を選んで説明したりしてお互いに円滑なコミュニケーションを取れるように工夫した。

## どのような作品を作ったか

3つの作品を作った。

まず、Booknookです。5つのバージョンを作成、奈良女と韓国、中国、台湾、ベトナムの4カ国についてのものである。次に、『昔話の展覧会』として各国の昔話や文化を紹介する展示を作った。最後に、世界マップを作成した。「行きたいところ」、「知りたいところ」を記録することができる。



## 実際の作業スケジュール

### \*11/30 第一回作業の日

一番時間がかかるBook-nookを進んだ。メンバーはそれぞれのやり方があるから、作業が終わった方は次の作業に進む、終わってなかった方は持ち帰って作るようになった。

### \*12/7 第二回作業の日

Book-nookと世界マップの印刷作業を完成した。

また、Book-nookの作業ペースを上げて進んだ。

時間が足りなかったから、展覧会の作業を印刷の方法に調整した。

### \*12/14 第三回作業の日

予定最後の日なんだけど、Book-nookがまだ終わってなかった方はこの作業を進めて、全部作業が終わった方は空いてる本棚に飾りを作った。Book-nookのbookを本棚に置いた。完成度は40%くらいだった。

### \*12/21 授業最後の日

Book-nookと展覧会の作業を全部完成。飾りも全部本棚に付けた。世界マップにはテーマを決めて、奈良女にいる皆さんが「自分が行きたい場所」をシェアする。

## 気づいたこと

出身の国がそれぞれ違って、みんなとコミュニケーションをとるのは難しいと思っていたが、そんなことはなく、話し合って協力しながらスムーズに作業することができた。また、みんな主体的に行動していて、自分の作業が終わってもそれぞれ何かやることを探して作業をしたり、いいものを作ろうという気持ちがみんなから感じられた。良い経験になった。

